

寄贈図書リスト

宇宙ガイドブック，宇宙航空研究開発機構（JAXA）
編，B5判，143頁，1,500円＋税，今人舎

太陽への旅，川上新吾，A5判，206頁，3,300円＋税，
恒星社厚生閣

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切，翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので，締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお，原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく，以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など），2. (1) 所属部門・所属講座，(2) 勤務地，3. 専門分野，4. 職務内容・担当科目，5. (1) 着任時期，(2) 任期，6. 応募資格，7. 提出書類，8. 応募締切・受付期間，9. (1) 提出先，(2) 問合せ先，10. 応募上の注意，11. その他（待遇など）

文教大学教育学部理科専修教員

1. 教授又は准教授1名
2. (1) 文教大学教育学部学校教育課程理科専修
(2) 埼玉県越谷市南荻島3337
3. 物理学および物理学教育
4. 物理学概論Ⅰ・Ⅱ，物理学A・B，物理学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ，教科教育法理科Ⅳ，卒業研究，物理学（共通教養），ほか
5. (1) 平成26年4月1日
(2) なし（就業規則により，定年は70歳）
6. (1) 博士の学位または同等の研究業績を有する者。
(2) コンピュータ・ネットワークの知識があることが望ましい。
7. (1) 履歴書（写真添付のこど）1通，(2) 教育研究業績書 1通，(3) 上記(2)に記載された業績のうち主要なもの5点（別刷，コピー可）
(注意) (1) (2) は本学所定の様式を用いること。本学所定の書式は，下記URLよりダウンロードできます。
<http://www.bunkyo.ac.jp/gakuen/saiyo.htm>
8. 平成25年8月20日(火) 必着
9. (1) 〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337

文教大学越谷校舎総務課

- (2) 上記提出先と同じ。

Tel: 048-974-8811 Fax: 048-974-9439

e-mail: ksoumu@stf.bunkyo.ac.jp

10. (1) 郵送のみ受け付け。封筒の表に「教育学部学校教育課程 理科専修 教員応募 書類在中」と朱書きし，書留便とすること。
(2) 応募書類は原則として返却しません。返却をご希望の場合は，返却希望の書類を明記の上，返信用封筒を同封してください。
(3) 応募提出書類の個人情報については審査時の資料とする以外には使用いたしません。あわせて採用予定者については労務管理以外には使用いたしません。
11. 書類選考通過者には，平成25年9月25日(水)頃までに本人宛に通知し，10月5日(土)に面接（模擬授業を含む）を行います。

国立天文台 RISE 月惑星探査検討室教授

1. 教授1名
2. (1) 国立天文台RISE月惑星探査検討室
(2) 水沢または三鷹
3. 惑星科学
4. 国立天文台がこれまで進めてきた一連の月惑星探査にかかる搭載機器の開発や，関連する研究を統括し，惑星科学全般を見渡した広い視野をもち，本分野における国立天文台およびプロジェクトとしての独自に寄与する方向性を見いだし，今後の月惑星探査計画に寄与しつつ，惑星科学を推進するリーダーシップを発揮できる人材を求めます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期 (2) なし
6. 博士の学位を有するか，またはそれと同等以上の方

7. (1) 履歴書(研究歴も含める: 個人としての研究業績のほかに, 多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入してください), (2) 研究論文リスト(査読論文とそれを区別し, 共著の場合は役割分担を記すこと), (3) 職務に対する抱負と計画(必要があれば研究計画も記入してください), (4) 評価書2通以上(ただし評価書は評価者から直接評価書受付e-mailアドレスへ提出するよう依頼し, 評価者の氏名, 連絡先を記載すること)
8. 2013年8月2日(金) 17時必着
9. (1) 応募書類は appl-rise-prof201308@nao.ac.jp へ, 評価書は評価者から直接 refe-rise-prof201308@nao.ac.jp へメール添付で送付
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台総務担当副台長 渡部潤一
e-mail: jun.watanabe@nao.ac.jp
10. すべての応募書類(上記7.の(1)~(4))はそれぞれPDFファイルに変換し, メールに添付すること。(各書類をまとめて一つのPDFファイルにしないこと。また, ZIPファイルに入れたり圧縮したりしないこと.)
- ・PDFは解像度に注意し, あまり容量が大きくなりすぎないようにすること(10MB程度まで).
 - ・応募書類が受理されると確認のメールを送るので, それが届かない場合には, appl-rise-prof201308@nao.ac.jp へお問い合わせください.
11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し, 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており, 業績の評価において同等と認められた場合には, 女性を積極的に採用します。詳しくは <http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokyodo/> をご覧ください。
- をNASAと共同で実施している。これらの活動をリードする教授もしくは准教授1名を公募する。表記ミッションの科学目的をしっかりと把握し, 大型宇宙望遠鏡や高精度偏光分光観測などの挑戦的な衛星搭載観測装置の開発・試験において, プロジェクトを推進していく資質をもった人材を求める。
5. (1) 決定後なるべく早い時期 (2) なし
6. 博士の学位を有するか, またはそれと同等以上の方
7. (1) 希望の職名, (2) 履歴書(研究歴も含める: 個人としての研究業績のほかに, 多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入してください), (3) 研究論文リスト(査読論文とそれを区別し, 共著の場合は役割分担を記すこと), (4) 職務に対する抱負と計画(必要があれば研究計画も記入してください), (5) 評価書2通以上(ただし評価書は評価者から直接評価書受付e-mailアドレスへ提出するよう依頼し, 評価者の氏名, 連絡先を記載すること)
8. 2013年8月2日(金) 17時必着
9. (1) 応募書類は appl-solar-c-prof-associate201308@nao.ac.jp へ, 評価書は評価者から直接 refe-solar-c-prof-associate201308@nao.ac.jp へメール添付で送付
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台ひので科学プロジェクト長 渡邊鉄哉
E-mail: watanabe@uvsol.nao.ac.jp
10. すべての応募書類(上記7.の(1)~(5))はそれぞれPDFファイルに変換し, メールに添付すること。(各書類をまとめて一つのPDFファイルにしないこと。また, ZIPファイルに入れたり圧縮したりしないこと.)
- ・PDFは解像度に注意し, あまり容量が大きくなりすぎないようにすること(10MB程度まで).
 - ・応募書類が受理されると確認のメールを送るので, それが届かない場合には, appl-solar-c-prof-associate201308@nao.ac.jp へお問い合わせください.
11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し, 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており, 業績の評価において同等と認められた場合には, 女性を積極的に採用します。詳しくは <http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokyodo/> をご覧ください。

国立天文台 SOLAR-C 準備室 教授もしくは准教授

1. 教授もしくは准教授 1名
 2. (1) 国立天文台 SOLAR-C 準備室
(2) 三鷹
 3. 太陽物理学および飛翔体天文学
 4. 国立天文台 SOLAR-C 準備室では, 次期の大型太陽観測衛星(SOLAR-C)計画の実現に向け, 宇宙科学研究所等と協力して, ミッションコンセプト, 衛星搭載機器の概念検討, 一部観測装置の開発を行うとともに, SOLAR-C計画のプリカーサーとなる観測ロケット実験搭載装置Chromospheric Lyman-Alpha SpectroPolarimeter (CLASP)の開発
- 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し, 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており, 業績の評価において同等と認められた場合には, 女性を積極的に採用します。詳しくは <http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokyodo/> をご覧ください。

国立天文台研究教育職員（重力波天文学）

1. 准教授1名
2. (1) 重力波プロジェクト推進室
(2) 東京都三鷹市
3. 重力波天文学
4. 国立天文台は、重力波検出の実現と重力波による新しい天文学を目指し、関係機関と協力して大型低温重力波望遠鏡KAGRAの建設を進めています。KAGRA計画の推進に必要な技術開発研究・データ解析研究で中心的な役割を果たすとともに、次世代の重力波による天文学研究の推進にも指導力を発揮できる研究者を求めます。職務および必要な能力・経験の詳細については、下記を参照してください。 <http://www.nao.ac.jp/contents/about-naoj/recruit/recruit-20130527-gravity.pdf>
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期
(2) 任期なし
6. 博士の学位を有するもの
7. (1) 履歴書（写真貼付）、(2) 研究歴、(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著の主要論文には役割分担を記して下さい）、(4) 主要論文のコピー、(5) 研究計画書、(6) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先。
8. 2013年8月2日（金）必着
9. (1) 応募書類は appl-gwpo-associate201308@nao.ac.jp へメール添付で送付のこと。
(2) 国立天文台台長 林 正彦
Tel: 0422-34-3650
e-mail: daicho@nao.ac.jp
10. ・すべての応募書類（上記7.(1)～(6)）は英語で用意しそれぞれPDFファイルに変換し、メールに添付すること。（各書類をまとめて一つのPDFファイルにしないこと。また、ZIPファイルに入れたり圧縮したりしないこと。）
・PDFは解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにすること（10 MB程度まで）。
・応募書類が受理されると確認のメールを送るので、それが届かない場合には、appl-gwpo-associate201308@nao.ac.jp へお問い合わせください。
11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは <http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokiyodo/> をご覧ください。

国立天文台教育研究職員

（チリ観測所、チリ勤務）

1. 助教1名
2. (1) 国立天文台チリ観測所、(2) チリ
3. 電波天文学、観測システム
4. 今回公募する助教には、チリの国際ALMA観測所の国際職員として、ALMA望遠鏡システム評価や科学評価を分担するとともに、効率的な国際ALMA観測所の運用と保守を実現させることや、将来のALMA望遠鏡の改良やアップグレードの計画に貢献していただける方を求めます。これらの職務と並行して、ALMAを用いた自身の研究を推進していただきます。電波望遠鏡、関連機器開発、および電波干渉計技術に関する深い知識が必要で、ALMAで用いられる国際レベルのシステムエンジニアリングへの理解が望まれます。Face-to-face会議やビデオ会議、電話会議などでの科学的・技術的議論ができる英語力は必須です。
5. (1) 決定後なるべく早い時期、(2) なし（5年目に助教としての再審査を行い、ほかの適切な職務に異動させることがあります）。
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書（研究歴も含める：個人としての研究業績のほかに、多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入してください）(2) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著の場合は役割分担を記すこと）(3) 職務に対する抱負と計画（必要があれば研究計画も記入してください）(4) 評価書2通以上（ただし評価書は評価者から直接評価書受付e-mailアドレスへ提出するよう依頼し、評価者の氏名、連絡先を記載すること）
8. 2013年7月1日(月) 17時 ※日本時間 必着
9. (1) 応募書類は appl-alma-assis201307@nao.ac.jp へ評価書は評価者から直接 refe-alma-assis201307@nao.ac.jp へメール添付で送付
(2) 国立天文台チリ観測所長 長谷川哲夫
e-mail: tetsuo.hasegawa@nao.ac.jp
10. 応募上の注意：
 - ・すべての応募書類（上記7.(1)～(4)）はそれぞれPDFファイルに変換し、メールに添付すること。（各書類をまとめて一つのPDFファイルにしないこと。また、ZIPファイルに入れたり圧縮したりしないこと。）

- ・PDFは解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにすること（10 MB程度まで）。
- ・応募書類が受理されると確認のメールを送るので、それが届かない場合には、
appl-alma-assis201307@nao.ac.jpへお問い合わせください。

11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください。

東京大学大学院理学系研究科物理学専攻 (物理学教室) 教員

1. 助教1名
2. (1) 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻
(2) 物理学教室 宇宙理論研究室
3. 観測的宇宙論
4. 須藤靖教授と協力して宇宙物理学の研究および大学院教育を推進すると共に、理学部物理学の学部教育を担当する。
5. (1) 決定後できるだけ早く
(2) なし
6. 博士号を取得していること
7. (1) 履歴書, (2) 業績リスト (主要論文5編以内に印をつけること), (3) 主要論文別刷り (コピー可) 各1部, (4) 研究業績の概要, (5) 研究計画 (A4判3ページ程度), (6) 教育に関する抱負 (A4判2ページ程度), (7) 意見を伺える方2名の氏名・連絡先
8. 平成25年7月1日(月)必着
9. (1) 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学大学院理学系研究科物理学専攻
須藤 靖
(2) 須藤 靖
e-mail: suto@phys.s.u-tokyo.ac.jp
Tel: 03-5841-4195
10. 応募書類は、封筒に「宇宙理論研究室助教応募書類在中」と朱書きし、郵送のこと。応募書類は返却しません。
11. 本研究科では、男女共同参画を積極的に推進しています。詳しくは下記URLの理学系研究科男女共同参画基本計画をご覧ください。
<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/gai/sankaku/kihonkeikaku.html>

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果 (前所属)
3. 着任時期

筑波大学 物理学域 教授

1. 2013年1月 (第106巻第1号)
2. 久野成夫 (国立天文台)
3. 2014年4月1日着任予定

国立天文台研究教育職員 (チリ観測所准教授, チリ勤務)

1. 2013年1月 (第106巻第1号)
2. 浅山信一郎 (国立天文台チリ観測所 助教)
3. 2013年4月1日

国立天文台研究教育職員 (チリ観測所助教, ALMA 科学運用, チリ勤務)

1. 2013年1月 (第106巻第1号)
2. 高橋智子 (台湾中央研究院天文及天文物理研究所 サポートアストロノマー)
3. 2013年5月1日

研究会・集案案内

京都大学 飛騨天文台一般公開のお知らせ

京都大学飛騨天文台では、来たる8月3日(土)に一般公開を行います。施設の公開と天体観望会を行い、京大天文台で現在行われている最先端の天文学研究をわかりやすく説明します。

先着100名までの受付となっておりますので、お早めにお申込みください。

<一般公開>

日 時: 2013年8月3日(土) 13:00~20:30
場 所: 岐阜県高山市上宝町蔵柱
京都大学大学院理学研究科附属飛騨天文台
公開施設: ドームレス太陽望遠鏡 (DST),
太陽磁場活動望遠鏡 (SMART),
65 cm 屈折望遠鏡, 60 cm 反射望遠鏡
内 容: DSTによる太陽像と分光スペクトル観望
(昼), SMARTによる太陽像の観察 (昼)

と解説

65 cm 屈折望遠鏡および小型望遠鏡による
夜間天体観望（土星など）
最先端の天文学研究解説（講演）など

〈交通機関〉

公共交通機関がありませんので、JR高山駅または上宝支所（高山市上宝町本郷）までお越しく下さい。JR高山駅と上宝支所からシャトルバス（有料）を運行します。詳細は、附属天文台のホームページをご覧ください。

〈申込方法〉ホームページからお申込みください。

受付期間：7月3日（水）11:00から

定員（100名）に達し次第締切

〈問合せ先〉

〒506-1314 岐阜県高山市上宝町蔵柱

京都大学飛騨天文台

Tel: 0578-86-2311 Fax: 0578-86-2118

e-mail: hida2013@kwasan.kyoto-u.ac.jp

e-mailでのお問い合わせの場合は、件名を「8/3 飛騨一般公開」としてください。

〈附属天文台ホームページ〉

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/>

〈主催〉京都大学大学院理学研究科附属天文台、

NPO法人花山星空ネットワーク

〈後援〉岐阜県高山市

〈協力〉高山観光バス

第12回国際シンポジウム「物質の起源と銀河の進化（OMEG12）」のお知らせ

宇宙における元素合成過程、恒星および銀河の化学進化について、原子核物理、天文学、宇宙物理、宇宙科学、宇宙化学などの関連分野の研究者が一堂に会して、互いに行われている研究の進捗状況について報告・議論します。中性子過剰核による重元素合成過程と中性子星の核物質を焦点に、特別セッションを企画します。

日時：2013年11月18日（月）～21日（木）

場所：つくば国際会議場（〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3, Tel: 029-861-0001）

主催：高エネルギー加速器研究機構

共催：国立天文台、東京大学、筑波大学、理化学研究所、大阪大学、東北大学

後援：日本万国博覧会記念基金助成金、新学術領域「実験と観測で解き明かす中性子星の核物質」

定員：150人

参加費：15,000円、学生10,000円

講演申込みおよび予稿集締切：2013年8月15日（木）

連絡先：OMEG12実行委員会事務局（KEK内）

電話／Fax: 048-462-8112 omeg12@kek.jp

その他：詳細は<http://kek.rnib.kek.jp/omeg12>参照。

第22回公開セミナー「天文学の最前線」～新時代の技術で挑む宇宙の謎～

名古屋大学と名古屋市科学館では毎年夏休みの時期に、第一線で活躍する天文学研究者を集め、一般向けのわかりやすい講演会と体験型研究室紹介を開催しております。22回目の今年は、「新時代の技術で挑む宇宙の謎」と題し、最新の技術に基づく新観測装置、将来計画が切り開く天文学について、幅広い分野の講師の方々が講演します。

日時：平成25年8月19日（月）～21日（水）

会場：19日：名古屋大学・坂田・平田ホール（理学南館）

20日：名古屋市科学館・サイエンスホール、プラネタリウムドーム（ブラザーアース）

21日：名古屋大学・野依記念学術交流館

主催：名古屋大学大学院理学研究科、名古屋市科学館

講師：金田英宏、鈴木建、竹内努、田島宏康、田原譲、福井康雄、松原隆彦、三好由純、毛利勝廣

内容：講演会（19, 20日）、体験型研究室紹介（21日）

対象：高校生以上

定員：300名（応募多数の場合は、高校生・大学生・教員を優先に抽選。研究室紹介見学は定員100名）

資料代：500円（高生大生）、1,000円（一般）

問合せ先：名古屋大学大学院理学研究科

Uir研「公開セミナー」係

（月・火・木・金 9:30～15:30）

Tel: 052-788-6188

締切：7月18日（木）必着

申込方法：

○インターネット：公開セミナーホームページ
<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/study/astro/seminar/>

○往復はがき：「往信面の裏面」に住所、氏名（ふりがな）、高校生・大学生・教員・一般の区分、一般以外は学校名、研究室紹介参加希望の有無、「返信面の表面」に参加者の住所と氏名（返信面の裏面に

は何も記入しないでください。)を記入のうえ、下記の住所までお送りください。

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番1号

名古屋市科学館学芸課天文係「公開セミナー」係
(申込時の情報は、主催者開催のセミナー等の案内以外には使用しません。また、締切後1週間程度で、受講票をお送りします。当日は受講票を持参のうえ、ご参加ください。)

第27回天文教育研究会・2013年天文教育普及研究会年会のご案内

メインテーマ:

「学校での天文教育を考える～連携の時代を迎えて～」
本年の天文教育研究会では、「天文教育普及における連携」について、学校での天文教育を考えながら、どのような相互支援・連携が可能なのか、どのような活動が必要とされるのかなど、社会教育機関の活動や一般天文普及での活動を含めて、議論を深めていきたいと思っております。

日時: 2013年8月18日(日) 13時～20日(火) 12時

会場: 山口県教育会館5階 (山口市大手町2-18)

主催: 天文教育普及研究会

参加費: 一般2,000円(2・3日間)・1,000円(1日間)、学生500円、非会員+1,000円(集録代として、希望者のみ)、高校生以下無料

申込締切:

発表あり参加, エクスカーション: 7月20日(土)

発表なし参加, 情報交換会: 8月5日(月)

プログラム抜粋 (予定):

第1日: 8月18日(日) 12:00～19:30

・基調講演 13:15～14:30

「学校での天文教育—これまでの変遷と今後の方向性—」(仮題)

講師: 根岸 潔氏 (学習指導要領改善協力者/教科用図書検定審議会委員/前・都立昭和高等学校校長)

第2日: 8月19日(月) 9:00～21:30

・招待講演 14:00～15:00

『『すばる』から30m望遠鏡へ—宇宙のさらなる謎の解明—』

講師: 家 正則氏 (国立天文台教授)

・パネルディスカッション 15:10～16:40

「地学基礎で何を学ばせるか、『地学基礎』執筆者が徹底討論」

パネラー: 「地学基礎」教科書(全5社)の筆者

縣 秀彦氏 (国立天文台): 東京書籍

家 正則氏 (国立天文台): 数研出版

岡田昌訓氏 (大阪府立布施高校): 啓林館

鈴木文二氏 (埼玉県立春日部女子高校)

: 第一学習社

直井雅文氏 (埼玉県立浦和高校): 実教出版

・情報交換会(懇親会) 19:30～21:30

会場: ホテルかめ福 (山口市湯田温泉4-5)

参加費: 6,000円(一般), 4,000円(学生)

第3日: 8月20日(火) 9:00～12:00

・エクスカーション 12:40～(参加費別)

KDDI山口衛星通信センター, 仁保隕石落下地

◆詳細, および参加申込は<http://tenkyo.net/meeting/27th/index.html>をご覧ください。

「東京大学木曾観測所及び名古屋大学太陽地球環境研究所」特別公開のお知らせ

東京大学木曾観測所及び名古屋大学太陽地球環境研究所を一般の皆様にご公開いたします。当日は、普段近くで見ることができない望遠鏡や観測装置を間近に見ることができる他、天体観望会、講演会、研究紹介、体験活動などもおこなわれます。

開催日時:

2013年8月3日(土)

* 13時～18時: 講演会, 研究紹介, 体験活動

* 19時～21時: 天体観望会 (雨天中止)

2013年8月4日(日)

* 10時～16時: 講演会, 研究紹介, 体験活動

開催場所: 長野県木曾郡木曾町三岳 10762-30

交通: JR中央西線木曾福島駅または上松駅から車で約30分

問合せ先: 木曾観測所 Tel: 0264-52-3360

木曾観測所ホームページ:

<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/>

太陽地球環境研究所ホームページ:

<http://www.stelab.nagoya-u.ac.jp/>

※尚, 事前申し込みは不要, 入場無料です。売店, 食堂はありません。

会務案内

2014年度内地留学奨学金の希望者の募集

この奨学金は主として学校の教員、科学館・プラネタリウム・公共天文台などの社会教育施設の職員などやアマチュア天文研究者の方々の研究活動・調査活動を支援する制度です。学生の応募も可能です。この奨学金を受給された場合、日本国内の大学や天文台などの研究機関を利用し、そこの研究者の指導を受けて研究活動を行うことになります。いままで、多くの方がこの制度を利用して、それぞれ関心をお持ちのテーマで研究をされてきました。奮ってご応募ください。研究をしてみたいが、その内容にふさわしい機関や指導者がわからないという場合は、内地留学奨学金選考委員長に相談してください。選考委員にはいろいろな分野の研究者がいるので、ふさわしい機関や指導者をご紹介できると思います。この相談が必要な場合、できるだけ早く御連絡ください。過去の奨学金の対象となった研究テーマは本会の会員名簿の巻末、および学会ホームページに掲載されています。

募集要項

応募資格：日本天文学会員

採 択 数：若干名

留学期間：2014年4月から2015年3月までの12カ月のうち希望する期間。

受入（予定）研究機関の指導教員（研究者）と相談のうえ、夏休みなどの長期休業

時に集中させたり、週に1回程度の研究日を設定したりするなどの方法が考えられます。研究終了後、2カ月以内に研究報告書の提出をお願いいたします。

支給額：25万円以下。支給は2014年4月を予定。

申込み：応募申請書に必要事項を記入し、指導教員の捺印とコメントを得たうえ、〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会理事長 宛に郵送してください。

応募締切：2013年8月31日（土）必着。

審査：内地留学奨学金選考委員会（内規第5条）で審査のうえ決定し、10月中旬に通知します。

応募用紙：日本天文学会事務所にあります。（学会事務所に連絡をくださればお送りします。）申請書の書き方の例もありますので、ご請求ください。日本天文学会のウェブページ（「各種手続・書式」の「内地留学」の項、http://www.asj.or.jp/asj/naichi_app.html）からもダウンロードできます。なお、日本天文学会会員名簿の巻末に内地留学奨学金に関する内規があります。

ご相談・問合せ先：内地留学奨学金選考委員長

松村雅文

〒760-8522 高松市幸町1-1

香川大学教育学部

Tel: 087-832-1466 Fax: 087-832-1615

e-mail: matsu@ed.kagawa-u.ac.jp

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード（5桁の数字と）vol98（5文字）の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光（編集長）、市来浄興、大栗真宗、勝川行雄、富永 望、平松正顕、廣田朋也、馬場 彩、前野将太、町田正博、吉田二美

平成25年6月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行

印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価700円（本体667円）発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）/ 0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2013年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）